

開催趣旨

新型コロナウイルス感染症の流行は4年目に入った。地域の医療機関は第一線で患者・国民に接し、その役割を發揮してきた。多くの国民が「いのちと暮らしを支える医療」に強い関心を寄せている。一方では、わが国では全世代型社会保障改革、医療提供体制の再編、医療DXなど「改革」が進められようとしており、今後の医療のあり方が問われている。この間の臨床の現場での経験と工夫を持ち寄り、いのちと暮らしを支える医療の実践を共有し、発信していく。

会員の日常診療の工夫・経験についての充実した分科会、ポスターセッション、また記念講演や全国共同調査、シンポジウムといった企画を通じて、全国の医師、歯科医師の交流と研鑽を深める機会としたい。

参加費

【現地参加】

医師・歯科医師	8,000円
協会事務局	2,000円
コ・メディカル、コ・デンタル	500円
会員のご家族ほか一般	無料

【その他】

レセプション(10/8)	10,000円
昼食弁当代(10/9)	2,000円
託児所(一時保育)あり	無料(要事前申込)

【オンライン参加】

医師・歯科医師	4,000円
協会事務局	無料
コ・メディカル、コ・デンタル	無料
会員のご家族ほか一般	無料

※ご所属の保険医協会・医会を通じてお申し込みください。

アクセス



都市センターホテル

〒102-0093
千代田区平河町2-4-1



電車

- ・東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅
4番・5番出口より徒歩約4分、9b番出口より徒歩約3分
- ・東京メトロ有楽町線「麹町」駅半蔵門方面1番出口より徒歩約4分
- ・東京メトロ丸ノ内線・銀座線「赤坂見附」駅D出口より徒歩約8分

バス

橋63系統「平河町二丁目(日本都市センター前)」下車
(新橋駅～市ヶ谷駅～小滝橋車庫前)

車

「霞が関」出口より約5分

第38回 保団連

医療研究フォーラム



メインテーマ

いのちと暮らしを支える医療

～臨床の現場からの発信～

日時

2023年10月8日(日) 17:00-19:05 (開場16:00)

2023年10月9日(月祝) 9:00-16:00

会場

都市センターホテル

〒102-0093 千代田区平河町2-4-1 TEL:03-3265-8211

規模

500人

※分科会の演題発表、ポスターセッション、質疑は現地(会場)で行います。
現地での発表、質疑はオンラインでリアルタイム視聴ができます。
※8日の全体会と、9日のシンポジウムは現地参加とオンライン参加のハイブリッド開催となります。

お問い合わせ 貴所属の保険医協会・保険医会 または 保団連 (TEL:03-3375-5121) へ

主催/全国保険医団体連合会

10/8
日



開会式 17:00~

全国共同調査結果発表 17:10~

「コロナ禍4年目の診療現場の実態・意識調査」

前回の医療研究フォーラムでの共同調査に続き、新型コロナウイルス感染症流行が4年目を迎える中、現時点での患者の受診動向、医療機関の経営状況とともに、医師・歯科医師の業務量の変化、疲労度などについて調査を実施しました。結果をご報告し、今後の医療機関支援の取り組みに活かします。

記念講演 17:35~

「人間の本质とコロナ後の未来」

講師 ● 山極 壽一 氏 (総合地球環境学研究所所長・京都大学名誉教授)



講師プロフィール

1952年東京都生まれ。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学、理学博士。
ルワンダ共和国カリソケ研究センター客員研究員、日本モンキーセンター研究員、京都大学霊長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科助教、同教授、同研究科長・理学部長を経て、2020年まで第26代京都大学総長。人類進化論専攻。屋久島で野生ニホンザル、アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学的研究に従事。日本霊長類学会会長、国際霊長類学会会長、日本学術会議会長、総合科学技術・イノベーション会議議員を歴任。

この間、医師・歯科医師ら医療従事者は「医療崩壊」とも言われる中で、医療提供体制、社会保障制度の矛盾に直面しながらも、患者・住民と向き合っている。人類学、霊長類学や人類学の観点から、コロナ禍を経験した人間社会のあり方や課題、患者・住民と向き合う地域医療の役割などについて伺います。

レセプション 19:20~

10/9
月祝



分科会・ポスターセッション 9:00~12:00

※分科会の演題発表、ポスターセッション、質疑は現地(会場)で行います。現地での分科会発表、質疑はオンラインでリアルタイム視聴ができます。また、10月末頃までオンデマンド配信しています。

分科会 (6テーマ)

- 第1分科会 「在宅医療・介護」
- 第2分科会 「内科診療の研究と工夫」
- 第3分科会 「歯科診療の研究と工夫」
- 第4分科会 「医科歯科連携した診療の研究と日常診療の工夫」
- 第5分科会 「災害、公害、環境、職業病」
- 第6分科会 「医学史・医療運動史・医療と裁判」

ポスターセッション

シンポジウム 13:00~16:00

「認知症に向き合う医療 ~予防と共生に向けて~」

趣旨 超高齢社会を迎えた日本では、2025年には認知症の有病者数が約700万人となり、65歳以上のおよそ5人に1人が認知症になると推計されています。地域の医療現場で認知症の方やその家族と接していく機会が確実に増えていく中、認知症の予防と対応、共生に向けた課題を考えます。

